

“Young Companion”の「お悩みコーナー」 “Can You Help Me?”から見たアーミッシュの若者の価値観

大藪 千穂・桐山 結菜*

Abstract

本論文では、アーミッシュの若者向けの雑誌“*Young Companion*”の中の“Can You Help Me?”という「お悩みコーナー」に寄せられた質問と回答の内容分析を行うことで、アーミッシュシステムの安定や持続可能性との関係を明らかにすることを目的としている。宗教に関するもの以外で特に回答が多かった「交際・結婚・恋愛に関する対人関係」、「仕事」、「家族・友人」に関する質問26件と回答524件を分析対象とした。この結果、交際・結婚への関心が強く、よき家庭を作ることが交際・結婚の目的となっていることが明らかとなった。また「祈る」ことをアドバイスする回答が多く、自己中心的な幸福の追求ではなく、全ての人にとってよくなるような解釈を求めていることが明らかとなった。さらにコミュニケーションの重要性も重視されていた。このことから、アーミッシュは、信仰を基盤としながらも、日常の密なコミュニケーションと若者の家庭を重視する価値観によって、安定かつ持続可能なシステムが可能となっていることが明らかとなった。

I. はじめに

我が国をはじめ、現代社会では、社会システムの持続性が大きな問題となっている。少子化、それによる地方の過疎化、生産年齢人口の減少など、国家という大きなシステムでさえもその存続が危惧されている。そのような中、アメリカ大陸に住みながら、近代文明を選択的に取り入れ、300年来の生活を続けているアーミッシュは、現在も人口が増え続け、システムとして安定している。

本論文では、アーミッシュをとりあげ、彼らがなぜ現在も繁栄しているのかを探る。アーミッシュの人口は、1749年にヨーロッパから迫害を受け、アメリカに移住した当初は少なく、1900年まで成人の数は500人程度であったが、20世紀になると、20年毎に2倍に増え、現在約22万人にも増加している。彼らは布教をしないため、人口が増える理由は、平均1家族あたり7人の子どもを出産する多産と、子どもの95%が成人になってアーミッシュになることを選択(再洗礼)することにある。

なぜアーミッシュの人口は増加しているのか、若者は結婚や出産をどのように考えているのか。宗教的迫害を受けてきたアーミッシュは、外の世界から分離して生きる決意をしていることと、電気を使わず、テレビやインターネットの利用

も拒絶しているため、アーミッシュの核心に迫ることは難しい。このような中、彼らのことを知ることができる情報源として、インタビューとほぼアーミッシュ全員が購読している3つの雑誌があげられる。これらの雑誌は、アーミッシュを含んだ再洗礼派が再洗礼派に向けて作っているPathway社が発行する。“*Family Life*”(家庭向け)、“*Blackboard Bulletin*”(教師向け)、“*Young Companion*”(若者向け)の3誌である。インタビューは、重要な情報源ではあるが、その個人がアーミッシュを代表しているかどうかを判断することは難しい。

本研究では、アーミッシュ全員が購読している雑誌の中から、若者向けの雑誌“*Young Companion*”を取りあげ、若者の本音を垣間見ることができる「お悩みコーナー」“Can You Help Me?”を分析することによって、アーミッシュの若者が、アーミッシュ社会の持続性にどのように寄与しているのかを明らかにしたい。

1. アーミッシュとは¹⁾²⁾³⁾⁴⁾

アーミッシュは、アメリカ大陸に住みながら、近代文明を拒否し、300年来の生活を続けている人々である。アーミッシュの原点は、1525年スイスで起きたアナバプティスト運動と呼ばれ

*岐阜県山県市美山小学校教諭

る再洗礼運動である。もともと、ローマカトリック教会であったアナバプティスト達は、新約聖書に忠実であろうとした宗教改革の急進的な一派であった。彼らは幼児洗礼を受けた後に成人洗礼も行うため異端とされ、ローマカトリック教会からしばしば迫害を受けていた。この迫害から逃れるために、農村や山岳地帯へ移動し、多くは農民になった。

1693年、アルザス地方へ移住したアナバプティストの中から、指導者ジェイコブ・アマン (Jacob Amman) に率いられ分裂した一派を、アマン派という意味でアーミッシュ (Amish) と呼んでいる。18世紀、アルザスがフランスに統合されるにあたって、アーミッシュの人々は各地へ逃れたが、自由憲章の起草者ウィリアム・ペンに招かれ、アメリカのペンシルヴェニア州ランカスター郡に移住した。その後も、ドイツにいたアーミッシュは次々とアメリカ大陸に渡り、現在はヨーロッパの母国で彼らの姿を見ることはないが、オハイオ州、ペンシルヴェニア州、インディアナ州などアメリカ合衆国22州とカナダのオンタリオ州など、北アメリカの地で生活しており、アーミッシュ人口は今もなお増加傾向にある。

アーミッシュには独自のライフスタイルがあり、宗教的価値観や独自のアイデンティティによって決定されている。アーミッシュを特徴づける生活スタイルを簡単に紹介すると以下の10項目となる。①信仰に基づく質素な生活、②数十家族による相互扶助のコミュニティーの形成、③家族中心の生活、④農業を基盤とした生活、⑤電気や電話の制限、⑥車の不所持(乗ってもよいが所有したり運転してはいけない)、⑦交通や輸送、農作業における馬の活用、⑧独特の衣服、⑨8年制の学校の設置と独自の教育、⑩オールドヌングと呼ばれる、口伝えで伝承されている生活に関するルール。

2. “Young Companion” と “Can You Help Me?”

“Young Companion”は¹⁴⁾²⁵⁾⁶⁾、1966年1月に“Ambassador of Peace”という名前で始まり、5年後の1971年1月に“Young Companion”となった10代の若者向けの月刊誌である。

“Ambassador of Peace”は、徴兵の期間中、様々な場所で勤める入隊年齢の若い男性向け雑誌としてつくられた。このことから家庭から離れて暮らすアーミッシュ男性のため、アーミッシュとしてのアイデンティティを失わないように雑誌が作られたのではないかと考えられる。

内容は詩、長編や短編の物語、記事、聖書に関わるクイズなどである。“Young Companion”は若者向けの雑誌ではあるが、多くの親たちも読んでいる。生活に即した内容であり、かつ多くの家庭で購読されている大衆誌であることから、アーミッシュの若者をはじめ、人々の情報入手において、有効な手段の一つと考えられる。

“Can You Help Me?”は、“Young Companion”にほぼ毎号設けられている若者の「お悩みコーナー」である。このコーナーは1969年11月に“Let's Talk It Over”と言う表題で1986年7月まで、この特集記事が掲載されていない月がしばしばありながらも発行されていた。7ヶ月の休載後、“Let's Talk It Over”は“Can You Help Me?”のタイトルで、再び毎月掲載され始められた。コンセプトは、再洗礼派やアーミッシュとしての悩みを告白し、情報を共有することである。

このコーナーは、Q and A方式になっており、読者から投稿された質問に、監督 (bishop) や読者が情報提供をしたり、自身の経験をもとに答えている。監督は、必ずそれぞれの質問の最初に回答している。このように、このコーナーは多くが読者からの回答となっている。毎号1つの質問に対し、見開き1ページ以上の回答が寄せられ、多い時には2回にわたって回答が掲載されることもある。

II. 分析

1. “Can You Help Me?” の分析方法

“Can You Help Me?”の内容を分析するにあたり、記事を質問部分の「Question」、回答部分を毎回答える監督等の「Staff」と一般読者の「Comments From Our Readers」に分類した。

質問は「青少年の生活と意識に関する基本調査」(総務庁青少年対策本部)⁷⁾の分類に、アー

ミッシュ特有の聖書や宗教を加え、以下の15項目とした。①勉強・進学, ②就職, ③仕事, ④家族, ⑤友人・仲間, ⑥交際, ⑦結婚, ⑧恋愛に関する対人関係, ⑨お金, ⑩政治・社会, ⑪性格, ⑫健康, ⑬容姿, ⑭聖書, ⑮宗教。

回答の分析は、回答の内容を、「解決のための回答」, 「相談する相手」, 「解決を示唆するもの」の3つに分類した。「解決のための回答」は、内容から以下の9つに分類し、それぞれ複数回答とした。①賛成・具体的解決策の提示, ②賛成・自分の経験の紹介, ③賛成・啓発, ④反対・具体的解決策の提示, ⑤反対・自分の経験の紹介, ⑥反対・啓発, ⑦どちらでもない・具体的解決策の提示, ⑧どちらでもない・自分の経験の紹介, ⑨どちらでもない・啓発。「相談する相手」は対象を以下の4つに分類し、それぞれ複数回答とした。①自分自身, ②教会・監督・神・コミュニティー, ③家族, ④外部の人。「解決を示唆するもの」は以下の5つに分類し、それぞれ複数回答とした。①聖書, ②一般の書物, ③道具, ④*Family Life*, ⑤*Young Companion*。以上のような分析方法を用いて、最近の状況を知るために、2000年から2013年までの記事を分析対象とした。

2. 単純集計の結果

“Can You Help Me?”の項目数は合計2,194件であり、質問が136件、回答は2,058件であった。回答のうち「Staff」690件、「Comments From Our Readers」1,368件となった(表1)。

“Can You Help Me?”における質問の内容は、最も多いのが「宗教」(36件)であり、これは全体の26.5%を占めている。次いで「性格」(23件), 「交際」(18件)となった。「交際」と内容が似ている「結婚」や「恋愛に関する対人関係」の3つの質問数を合わせると全体の30.9%を占めている。このことから、アーミッシュの若者の悩みの多くは、「宗教」や「性格」, 「恋愛や結婚」に関するものと言え、「勉強・進学」や「就職」, 「政治・社会」, 「容姿」に関しては皆無であった。

“Can You Help Me?”の質問項目の分析にあたり、質問の内容に近い「宗教」と「聖書」,

「交際」と「結婚」と「恋愛に関する対人関係」, 「家族」と「友人・仲間」をそれぞれ組み合わせ、「宗教・聖書」, 「交際・結婚・恋愛に関する対人関係」, 「家族・友人」に分類しなおした。質問項目の分析結果から、1つの質問に対する平均回答数が多い質問分類は「交際・結婚・恋愛に関する対人関係」(19.5件), 「仕事」(19.0件), 「聖書・宗教」(13.3件), 「家族・友人」(11.7件)であった。

本研究では、宗教的な内容ではない日常の考え方を分析することとし、「聖書・宗教」を除いた「交際・結婚・恋愛に関する対人関係」, 「仕事」, 「家族・友人」の3種類の質問のうち、それぞれの質問分類で回答数が多い順に合計26件の質問に対して分析することとした。分析した回答数は合計524件である。

表1. 質問の内容

質問数	Staff	Comments From Our Readers	Answer(Staff +Comments from our Readers)	1つの質問に対する平均回答数	
宗教	36	191	306	497	13.8
性格	23	101	214	315	13.7
交際	18	98	215	313	17.4
結婚	13	78	183	261	20.1
家族	11	46	90	136	12.4
恋愛に関する対人関係	11	57	157	214	19.5
聖書	11	58	82	140	12.7
友人・仲間	6	27	39	66	11.0
仕事	4	20	56	76	19.0
お金	2	9	17	26	13.0
健康	1	5	9	14	14.0
勉強・進学	0	0	0	0	0.0
就職	0	0	0	0	0.0
政治・社会	0	0	0	0	0.0
容姿	0	0	0	0	0.0
合計	136	690	1368	2058	15.1

(1) 「仕事」

「仕事」に関する回答数は合計76件である。「解決のための回答」で回答数が最も多くなったのは(表2), 「Answer」では「反対・啓発」18件(23.7%), 次いで「反対・自分の経験の紹介」17件(22.4%), そして「反対・具体的解決策の提示」15件(19.7%)となった。「Staff」では「反対・啓発」9件(11.8%), 次いで「反対・具体的解決策の提示」6件(7.9%)となり、「Comments From Our Readers」は「どちらでもない・自分の経験の紹介」16件(21.1%), 「反対・自分の経験の紹介」15件(19.7%)となった。

これより、「Staff」は「仕事」の質問に対して、「啓発」を主に行っていることが分かる。

また「Comments From Our Readers」では自分の経験をもとにアドバイスしている。これは質問において「あなたの経験」を求めるものが4つの質問のうち1つあったことと関係していると考えられる。

「Answer」で見ると反対の意見が多くあった。これは質問が「メイドの仕事には価値がないのだろうか。」や「月に1回の若者グループの親睦会は怠けにあたるのか。」のように、自分たちの現状に対し悪いことをし、間違いを犯しているのではないかという心配があるためではないかと考えられる。そのため、これらの質問に対して反対することで若者たちの現状を肯定し、認めている。「Staff」においては、具体的解決策を多く示し、「Comments From Our Readers」では具体的解決策と次いで自分の経験も多く紹介されていた。

次に「相談する相手」については、「Answer」, 「Staff」, 「Comments From Our Readers」全てにおいて「教会・監督・神・コミュニティー」のみとなった。それぞれの値は「Answer」2件 (2.6%), 「Staff」1件 (1.3%), 「Comments From Our Readers」1件 (1.3%) である。

さらに「解決を示唆するもの」では、「聖書」のみで「Answer」は20件 (26.3%), 「Staff」は9件 (11.8%), 「Comments From Our Readers」は11件 (14.5%) となった。相談する相手や解決を示唆するものから、宗教を根拠にしたり、よりどころとして捉えている。また仕事の質問には「あなたのコミュニティーではいくら支払っているのか。」という質問があったため、「教会・監督・神・コミュニティー」が相談相手として挙げられていると考えられる。「仕事」における質問と回答の具体例を以下に挙げる。なお質問の番号は、最後の資料に示す質問番号が該当する。

〈質問2〉なぜ少女はメイドとして安い賃金で働かないといけないのか？

〈回答〉〈Staff〉「賛成・啓発」, 「反対・啓発」: 少女たちの仕事の割に薄給というのはよくあること。支払う余裕がある若い夫婦はまれである。重要な仕事ではあるが、支払うほどではない。

もっと支払い能力のあるコミュニティーでも学校の教師の場合は特に賃金が公平ではなく、立場を是正する努力が必要だ。隣人の仕事でさえお金を払うことを望まれるときもあるが、あまりお金にばかり気をとられているとお金より価値があるものを理解できないかもしれない。

〈Comments From Our Readers〉「どちらでもない・具体的解決策の提示」, 「どちらでもない・啓発」: 母親自身ではできない家事を手伝っている少女は、低給又は無給で働くべきだ。いつか彼女も必要な立場になる時が来る。若い男性も同じで、足を骨折してしまい、助けが必要な農夫にはそうするべきだ。しかしこれは雇用者側の意見で、手伝いを大規模化すればちゃんと賃金は入り、払いたくなければ自分でできる程度にとどめておく必要がある。雇用者と被雇用者の両方が黄金律をもっておく必要がある。

表2. 「仕事」の回答数と割合

		該当数(%)		
		Answer	Staff	Comments From Our Readers...
解決のための回答	賛成・具体的解決策の提示	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	賛成・自分の経験の紹介	7(9.2)	0(0.0)	7(9.2)
	賛成・啓発	11(14.5)	5(6.6)	6(7.9)
	反対・具体的解決策の提示	15(19.7)	6(7.9)	9(11.8)
	反対・自分の経験の紹介	17(22.4)	2(2.6)	15(19.7)
	反対・啓発	18(23.7)	9(11.8)	9(11.8)
	どちらでもない・具体的解決策の提示	5(6.6)	0(0.0)	5(6.6)
	どちらでもない・自分の経験の紹介	16(21.1)	0(0.0)	16(21.1)
相談する相手	どちらでもない・啓発	7(9.2)	0(0.0)	7(9.2)
	自分自身	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	教会・監督・神・コミュニティー	2(2.6)	1(1.3)	1(1.3)
	家族	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
解決を示唆するもの	外部の人	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	聖書	20(26.3)	9(11.8)	11(14.5)
	一般の書物	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	道具	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	Family Life	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	Young Companion	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

注)複数回答。回答数を母数としている。

(2) 「家族・友人」

「家族・友人」に関する回答数は合計153件である。「解決のための回答」で回答数が最も多くなったのは「Answer」では「どちらでもない・具体的解決策の提示」80件 (52.3%), 次いで「どちらでもない・自分の経験の紹介」31件 (20.3%), そして「どちらでもない・啓発」24件 (15.7%) となった。「Staff」では「どちらでもない・具体的解決策の提示」31件 (20.3%), 次いで「どちらでもない・啓発」11件 (7.2%) となり、「Comments From Our Readers」では「Answer」と同様の傾向を示し、それぞれ49件 (32.0%), 28件 (18.3%) であった。

「Answer」, 「Staff」, 「Comments From Our Readers」いずれにおいてもどちらでもないという回答が多かったのは質問内容が「AなのかBなのか」という選択肢のある問題よりも、「どうしたら良いか」という漠然とした解決策を求めるものが多かったことが挙げられる。また優劣をつけない, 順位をつけないというアーミッシュ特有の考え方も理由の一つとして考えられる。

表3. 「家族・友人」の回答数と割合

		該当数(%)		
		Answer	Staff	Comments From Our Readers***
解決のための回答内容	賛成・具体的解決策の提示	10(6.5)	8(5.2)	2(1.3)
	賛成・自分の経験の紹介	11(7.2)	1(0.7)	10(6.5)
	賛成・啓発	9(5.9)	4(2.6)	5(3.3)
	反対・具体的解決策の提示	8(5.2)	3(2.0)	5(3.3)
	反対・自分の経験の紹介	5(3.3)	1(0.7)	4(2.6)
	反対・啓発	8(5.2)	1(0.7)	7(4.6)
	どちらでもない・具体的解決策の提示	80(52.3)	31(20.3)	49(32.0)
	どちらでもない・自分の経験の紹介	31(20.3)	3(2.0)	28(18.3)
相談する相手	どちらでもない・啓発	24(15.7)	11(7.2)	13(8.5)
	自分自身	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	教会・監督・神・コミュニティ	76(49.7)	25(16.3)	51(33.3)
	家族	15(9.8)	6(3.9)	9(5.9)
解決を示唆するもの	外部の人	4(2.6)	2(1.3)	2(1.3)
	聖書	45(29.4)	23(15.0)	22(14.4)
	一般の書物	6(3.9)	1(0.7)	5(3.3)
	道具	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	Family Life	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	Young Companion	2(1.3)	0(0.0)	2(1.3)

注)複数回答。回答数を母数としている。

「相談する相手」は, 「Answer」, 「Staff」, 「Comments From Our Readers」全てにおいて「教会・監督・神・コミュニティ」(76件(49.7%), 25件(16.3%), 51件(33.3%)), 「家族」(15件(9.8%), 6件(3.9%), 9件(5.9%)), 「外部の人」(4件(2.6%), 2件(1.3%), 2件(1.3%))の順になった。多くは神に祈ることによって助けを求めていた。これは神が正しい道を知っているという考えが根底にあるからと言える。父親または母親のどちらかとの関係に問題がある時は, もう一方の親に相談してみるとよいという助言や, 友人とのトラブルは両親に相談する助言があった。このことから家族の中でのコミュニケーションを大切にしていると考えられる。

また両親のことが相談内容で, 両親には相談できない場合は, コミュニティーにいる年上の信頼できる女性に相談するようであった。外部の人とは, 医師や栄養士といった専門家や, 忠告において「間違っただけ人には相談しないように」と漠然としている。医師や栄養士に助言を求め

る質問に見られるように, アーミッシュは家族やコミュニティの中でのみに回答を求めるだけでなく, 時には外部の専門機関にも助けを求めている。

「解決を示唆するもの」としては, 「一般の書物」と「Young Companion」が挙げられていた。「一般の書物」には, クリスマスキャロル, カフマンによる“Light From Heaven”のようなキリスト教徒に関する本や詩があった。

「Young Companion」においても「Can You Help Me?」以外に物語や詩が多く掲載されていることから, アーミッシュは聖書以外の宗教に関する本や詩も利用していると言える。「Comments From Our Readers」では, 以前このコーナーに掲載された似た質問を見直すように助言していた。このことから似たような質問が何度もされていると言える。「家族・友人」における質問と回答の具体例を以下に挙げる。

〈質問5〉父がみんなの前で卑劣なことを言うので, 尊敬できない(10代の少年より)。

〈回答〉〈Staff〉「賛成・具体的解決策の提示」, 「反対・具体的解決策の提示」, 「反対・啓発」, 「教会・監督・神・コミュニティ」, 「聖書」: 10代の子が直面する問題。親の力に服従することは難しい。君がより良い関係を強く望んでいることをうれしく思う。詳細なことや君の家庭の状況は分からないが, 精神的虐待(暴言)は父親に責任があると思う。君も同じ態度をとれば状況は悪化するだけだ。使徒ペトロは人の関係について良い助言をしている。「最後に皆同じ思いとなり, 労わり合い, 兄弟たちを愛し, 心優しくへりくだった思いでありなさい。悪に対し悪をもって報いず, むしろ互いに祝福しあいなさい。なぜならあなたが召されたのはこのため, すなわち祝福を受け継ぐためにあるのだから。」(ペトロ一, 3, 8-9) 父親はあなたの気持ちや良い関係を築きたいという気持ちに気付いているのか。彼と個人的な話をしてみたい。彼に傷ついていることや良くなりたいたいという内に秘めて気持ちを示し, 許しを求め, 間違いを完全に告白しなさい。もしこれらができたら, 君の父親も同じことを強く望んでいると分

かるだろう。これまでのふるまいを反省して謝ってくるかもしれない。とにかく神に祈ることだ。

〈Comments From Our Readers〉「どちらでもない・具体的解決策の提示」, 「どちらでもない・自分の経験の紹介」, 「教会・監督・神・コミュニティ」: 弟と私は父親の機嫌が悪い時、身代わりであった。君のように「父親の態度はどうなのか」とも思った。私はついに父親が悪い態度でいれば、神には私に責任をとらせはしないと分かった。しかし父親は私にその責任をとらせようとする。私の場合、父親の怒りのほとんどは、悪い態度ではなく、私の性格でもなく、大抵は私の悪い態度をしようとする心にあったと思う。もし君が父親のことを名誉だと思えないなら、尊敬し神に許しを求める必要がある。父親との関係を謙遜するために助けを求めなさい。私にとって父へのつつまじやかな態度は私たちの関係を劇的に変化させた。父親と良い関係でいられることが両者の幸せになる。

(3) 「交際・結婚・恋愛に関する対人関係」

「交際・結婚・恋愛に関する対人関係」に関する回答数は合計295件である。回答数の多さからアーミッシュの若者は「交際・結婚・恋愛に関する対人関係」について非常に関心があることが分かる。「解決のための回答」で最も多くなったのは、「Answer」では「どちらでもない・具体的解決策の提示」152件 (51.5%), 次いで「どちらでもない・自分の経験の紹介」83件 (28.1%), そして「どちらでもない・啓発」58件 (19.7%) である。「Staff」では「どちらでもない・具体的解決策の提示」31件 (10.5%), 次いで「どちらでもない・啓発」19件 (6.4%) となり、「Comments From Our Readers」では「Answer」と同様の傾向を示した。それぞれの値は121件 (41.0%), 78件 (26.4%) であった。

「Answer」, 「Staff」, 「Comments From Our Readers」のいずれにおいても、質問項目の「家族・友人」と同様の傾向であった。「どちらでもない」という回答が多かったのは、「家族・友人」と同様に、質問が「AなのかBなのか」という選択肢のある問題よりも、「ど

うしたら良いか」と言う漠然とした解決策を求めるものが多かったためと考えられる。

「相談する相手」では、「Answer」, 「Staff」, 「Comments From Our Readers」全てにおいて多い方から「教会・監督・神・コミュニティ」(231件 (72.2%), 49件 (16.6%), 164件 (55.6%)), 「家族」(36件 (12.2%), 4件 (1.4%), 32件 (10.8%)) となった。全体的に自分の考えは放棄し、祈ることにより神の意思を求めることが多い。またコミュニティのメンバーや家族に相談するような助言が多くあり、直接的なコミュニケーションを大切にしているアーミッシュらしさがうかがえる。他の質問項目にはなかったものとしては、家族だけでなく、恋人を含めて一緒に過ごすように助言があった。

「解決を示唆するもの」では、「Answer」, 「Staff」, 「Comments From Our Readers」全てにおいて「聖書」(58件 (19.7%), 18件 (6.1%), 40件 (13.6%)), 「一般の書物」(19件 (6.4%), 4件 (1.4%), 15件 (5.1%)) の順となり、「Comments From Our Readers」には「Family Life」が1件 (0.3%) と「Young Companion」が6件 (2.0%) となった。「一般の書物」は、統計のデータ, “I kissed Dating Good-Bye” や Rod and Staff 社 “Single Reflections”, Pathway社以外から出版されている雑誌, 出典不明の韻文, 歌があった。特に歌は気を紛らわすために歌うよう何度か取り上げられていた。

表 4. 「交際・結婚・恋愛」の回答数と割合

		該当数(%)		
		Answer	Staff	Comments From Our Readers...
解決のための回答	賛成・具体的解決策の提示	27(9.2)	12(4.1)	15(5.1)
	賛成・自分の経験の紹介	13(4.4)	2(0.7)	11(3.7)
	賛成・啓発	3(1.0)	2(0.7)	1(0.3)
	反対・具体的解決策の提示	13(4.4)	5(1.7)	8(2.7)
	反対・自分の経験の紹介	8(2.7)	2(0.7)	6(2.0)
	反対・啓発	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
解決を示唆するもの	どちらでもない・具体的解決策の提示	152(51.5)	31(10.5)	121(41.0)
	どちらでもない・自分の経験の紹介	83(28.1)	5(1.7)	78(26.4)
	どちらでもない・啓発	58(19.7)	19(6.4)	39(13.2)
相談する相手	自分自身	1(0.3)	0(0.0)	1(0.3)
	教会・監督・神・コミュニティ	213(72.2)	49(16.6)	164(55.6)
	家族	36(12.2)	4(1.4)	32(10.8)
解決を示唆するもの	外部の人	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	聖書	58(19.7)	18(6.1)	40(13.6)
	一般の書物	19(6.4)	4(1.4)	15(5.1)
	道具	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	Family Life	1(0.3)	0(0.0)	1(0.3)
	Young Companion	6(2.0)	0(0.0)	6(2.0)

注)複数回答。回答数を母数としている。

離婚の選択肢がないアーミッシュにとって交際は、結婚の前のものであるという意味だけでなく、極めて重要なものとして位置付けられる。そのため、交際に関わる悩みに対する回答が他の質問と比べて多いと考えられる。また他の質問と比べ、かなり個人的な悩みであるため、家族に相談を促す回答の割合も高くなっている。「交際・結婚・恋愛に関する対人関係」の具体例を以下に示す。

〈質問17〉若い男性は女の子に何を求めている？

〈回答〉〈Staff〉「どちらでもない・具体的解決策の提示」, 「聖書」: 私は若い男性ではないが心は若いと思うので答えたい。大胆にふるまい、男子の注意を引けばよいだろうが、正しいやり方ではない。ペトロの手紙で従順で穏やかな精神という心の隠された宝物について述べている。これは注意を得ようとしているのではなく、むしろひそかに他者の役に立つこと。私はその若者が本当にクリスチヤンの家庭を望んでいて、表面に現れる以上のものを見ており、すなわち心の内側にある従順さやクリスチヤンの母となり得る人を探しているのだと信じている。君の目的は楽な人生や人気、豊かさなのか。それよりむしろ子供の育つ環境や助け合いや教会で話ができることであるべきではないか。

〈Comments From Our Readers〉「どちらでもない・具体的解決策の提示」, 「どちらでもない・自分の経験の紹介」, 「教会・監督・神・コミュニティ」: 同じ疑問を持って兄と話をした。兄はグイグイくる子やぺちゃくちゃしゃべる子は尊敬できないそうだ。だらしない子は大抵ダメ。きちんとしており、控えめで思いやりのある子を求めている。シャイであることは不名誉なことではない。神が良い手本を示して下さる。他に人の不快になるところを探す手本になる。自分自身を確立できれば、それが本当の自分になる。自尊心のある子は他からも尊敬される。

(4)「仕事、家族・友人、交際・結婚・恋愛に関する対人関係」全体の回答

「仕事、家族・友人、交際・結婚・恋愛に関

する対人関係」全体の回答を分析した「解決のための回答」では、「Comments From Our Readers」では多い順に「どちらでもない・具体的解決策の提示」205件 (39.1%)、次いで「どちらでもない・自分の経験の紹介」122件 (23.3%)、そして「どちらでもない・啓発」58件 (11.1%)となった。これは「Answer」と同様の傾向にあり、それぞれ237件 (45.2%)、130件 (24.8%)、89件 (17.0%)であった。「Comments From Our Readers」では、自分の経験の紹介が多くあった。このことから一般の読者は「啓発」をするよりも自分の経験をもとに書いたり、具体的な考えや行動を示すことで助言している。逆に「Staff」は賛成、反対、どちらでもない、のいずれにおいても自分の経験の紹介が少ない。このことから個人的な考えではなく、監督としての立場から「啓発」を行っていることが分かる。

「相談する相手」としては、「Answer」, 「Staff」, 「Comments From Our Readers」いずれにおいても「教会・監督・神・コミュニティ」(291件 (55.5%)、75件 (14.3%)、234件 (44.7%))、 「家族」(51件 (9.7%)、10件 (1.9%)、41件 (7.8%))の順となった。いずれもアーミッシュにとって身近な存在である。監督やコミュニティの人々、家族は面と向かって話ができる相手であるため、直接的なコミュニケーションを好むアーミッシュにとって適した相手である。このことから相談相手として、身近で信頼できる相手に直接相談するような助言が多いと考えられる。

表5. 全体の回答数と割合

	該当数(%)			
	Answer	Staff	Comments From Our Readers	
解決のための回答	賛成・具体的解決策の提示	37(7.1)	20(3.8)	17(3.2)
	賛成・自分の経験の紹介	31(5.9)	3(0.6)	28(5.3)
	賛成・啓発	23(4.4)	11(2.1)	12(2.3)
	反対・具体的解決策の提示	36(6.9)	14(2.7)	22(4.2)
	反対・自分の経験の紹介	30(5.7)	5(1.0)	25(4.8)
	反対・啓発	26(5.0)	26(5.0)	0(0.0)
	どちらでもない・具体的解決策の提示	237(45.2)	32(6.1)	205(39.1)
	どちらでもない・自分の経験の紹介	130(24.8)	8(1.5)	122(23.3)
	どちらでもない・啓発	89(17.0)	31(5.9)	58(11.1)
相談する相手	自分自身	1(0.2)	0(0.0)	1(0.2)
	教会・監督・神・コミュニティ	291(55.5)	75(14.3)	234(44.7)
	家族	51(9.7)	10(1.9)	41(7.8)
	外部の人	4(0.8)	2(0.4)	2(0.4)
解決を示唆するもの	聖書	123(23.5)	61(11.6)	62(11.8)
	一般の書物	25(4.8)	5(1.0)	20(3.8)
	道具	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	Family Life	1(0.2)	0(0.0)	1(0.2)
	Young Companion	8(1.5)	0(0.0)	8(1.5)

注)複数回答。回答数を母数としている。

「解決を示唆するもの」としては、「Answer」, 「Staff」, 「Comments From Our Readers」いずれにおいても「聖書」(123件 (23.5%), 61件 (11.6%), 62件 (11.8%)) が最も多くなった。アーミッシュにとって聖書は生活するための手本になっていることが分かる。

3. キーワード分析

「仕事, 家族・友人, 交際・結婚・恋愛に関する対人関係」全体の回答についてキーワード検索を行った。その中で回答全体にあたる「Answer」が524件あったため, その1割にあたる52回以上の頻度の単語を示した(表6)。「私」や「私たち」のように同じ人物を表す別の言葉や, 「祈り」や「祈る」のように名詞と形容詞の違いはあるが同じことを指すものは1つにまとめた。

最も多かった単語は「私・自分・私たち」で596件(113.7%)であった。100%を超えた理由は母数を回答数にしているため, 1つの回答で複数回使用されているからである。次に「神・イエス・キリスト・救世主」や「聖書」, 「祈り」のような宗教に関する言葉が多く見られた。「神」は418件(79.8%)あり, 神を心のよりどころとして捉えていると考えられる。他にも宗教に関連のある言葉は, 「望み」, 「受け入れる」, 「意思」, 「クリスチャン」, 「与える」, 「求める」, 「導き」, 「信じる」, 「従順」, 「教会」があった。「クリスチャンとして正しいこと」を判断の基準としており, 「自分の望みを捨て, 神が自分の意思で選択するよりもより良い未来を示して下さると信じ, 神の意思を受け入れる」といったアドバイスが多くあった。上記に示した宗教に関する言葉は全部で1,664件あり, 317.6%になった。1つの回答に対して, 3つ以上宗教に関する言葉があり, アーミッシュにとって宗教は物事を考える軸となっていると考えられる。

人を指す言葉は多い順に「私」, 「男性」, 「あなた」, 「子ども」, 「両親」, 「夫婦」, 「家族」, 「母」, 「女性」, 「クリスチャン」, 「兄弟」, 「父」, 「友人」, 「コミュニティー」, 「人」となった。これより「両親」, 「母」, 「家族」, 「父」, 「友人」, 「コミュニティー」を相談相手として勧めてい

ることが分かる。家族に関する言葉が多いことから考え, アーミッシュは家族としてのつながりを大切にしていることが言える。男女別では「彼・若者・男性・男子・独身男性・クリスチャン男性」(367件(70.0%))という男性を表す言葉の方が, 「彼女・少女・女性・女子・女・独身女性」(113件(21.6%))という女性を表す言葉よりも多くなった。これは特に「交際・結婚・恋愛に関する対人関係」において女性の質問者が多く, 女性に関することや女性から男性に対する質問内容が多いためだと考えられる。

表6. キーワード分析の結果

キーワード	件数	割合
1 私・自分・私たち	596	113.7
2 神・イエス・キリスト・救世主	418	79.8
3 彼・若者・男性・男子・独身男性・クリスチャン男性	367	70.0
4 君・あなた	325	62.0
5 思う	218	41.6
6 聖書・新約聖書・旧約聖書・箴言・コロサイ人からの手紙	215	41.0
7 結婚・結婚生活・結婚する事	168	32.1
8 祈る・祈り・祈禱者・祈る者	165	31.5
9 子供・子・子ども	162	30.9
10 考える	154	29.4
11 人生	137	26.1
12 両親・親	137	26.1
13 望む・望み・願望・願う・願い・嘆願	137	26.1
14 夫・夫婦・妻・伴侶・配偶者・パートナー	134	25.6
15 言う	133	25.4
16 家庭・家族	125	23.9
17 良い	122	23.3
18 母・母親	120	22.9
19 分かる	113	21.6
20 彼女・少女・女性・女子・女・独身女性	113	21.6
21 できる	111	21.2
22 仕事・メイド	111	21.2
23 受け入れる・受け入れること	108	20.6
24 意思	101	19.3
25 心	100	19.1
26 交際・付き合う・カップル	92	17.6
27 クリスチャン・キリスト教徒・神の子	91	17.4
28 兄弟・兄妹・兄妹・兄・弟・姉・妹	90	17.2
29 間違え・間違い・過ち・過ちを犯す	88	16.8
30 父・父親	88	16.8
31 与える	85	16.2
32 求める	80	15.3
33 知る	79	15.1
34 気持ち	78	14.9
35 経験	78	14.9
36 学ぶ・学ぶこと	77	14.7
37 読む・読むこと	76	14.5
38 助ける	75	14.3
39 友人・親友・友達	75	14.3
40 愛	74	14.1
41 コミュニティー・教区・メンバー	73	13.9
42 導き・導く	73	13.9
43 時間	70	13.4
44 信じる	67	12.8
45 話す・相談	67	12.8
46 従順・従順さ・従う・従うこと	63	12.0
47 独身・独身女性・独身男性・独身者	62	11.8
48 教会	61	11.6
49 人	59	11.1
50 問題	56	10.7
51 アドバイス・助言	56	10.7

全体的に動詞は少ないが, その中でも「思う」(218件(41.6%))という言葉が多く, 自分の意見を示している。「学ぶ」(77件(14.7%)), 「読む」(76件(14.5%))といった言葉は, 聖書を読むことで, アーミッシュとしての生き方について考えさせている。また「結婚」(168件(32.1%))に関する言葉が「交際」(92件(17.6%))よりも多かった。アーミッシュにとって, 交際は結婚への過程と考えられるため, 「交際」よりも「結婚」が多いのではないかと考えられる。

4. 字数分析

英語を日本語に翻訳し、文字数を計算した。翻訳のため文字数は正確ではないが、翻訳は筆者らが行ったため、訳し方や癖なども含め、訳された文字数を比較分析することに問題はないと考える。

「仕事」における回答の平均文字数は232文字、「家族・友人」における回答の平均文字数は255文字となった。「交際・結婚・恋愛に関する対人関係」における回答の平均文字数は261文字である。最も少ない文字数は17文字、最も多い文字数は1,008文字で共に「交際・結婚・恋愛に関する対人関係」の回答であった。「仕事」,「家族・友人」,「交際・結婚・恋愛に関する対人関係」全体において最も回答数が多くなったのは、200~299文字で171件、次いで100~199文字で170件であった。これより、100字から300字までに6割の回答者が含まれ、500字までには8割が該当することが分かる。

「交際・結婚・恋愛に関する対人関係」,「家族・友人」,「仕事」の順で回答の平均文字数が多くなった。この3つの質問は、すでに示したように質問数もこの順になっていることから、「交際・結婚・恋愛に関する対人関係」について関心が最も高く、次いで「家族・友人」,そして「仕事」であると言える。先に示したように、交際や恋愛は結婚へとつながるものであるため、アーミッシュにとって結婚は非常に重要な意味をもっていると考えられる。特にアーミッシュは生命の再生産によってアーミッシュ人口を増やし、繁栄してきたため、その前段階にあたる「交際・結婚・恋愛に関する対人関係」を重視していると思われる。

5. クロス集計の結果

分析対象としたクロス集計は、「解決のための回答」と「相談相手」と「解決を示唆するもの」である。有意差があったのは(表7),「解決のための回答」と「相談する相手」の「教会・監督・神・コミュニティ」,「解決のための回答」と「解決を示唆するもの」の「聖書」であった。

「教会・監督・神・コミュニティ」で最も

高かったのは、「Answer」では「賛成・具体的解決策の提示」,次いで「どちらでもない・具体的解決策の提示」,そして「どちらでもない・啓発」であった。「Staff」は最も高かった。「賛成・具体的解決策の提示」,「どちらでもない・啓発」,「Comments From Our Readers」では「どちらでもない・具体的解決策の提示」が最も高くなった。「Answer」,「Staff」,「Comments From Our Readers」の全てにおいて「具体的解決策の提示」が「自分の経験の紹介」や「啓発」よりも強い関係がある。具体的な助言として神を受け入れ、神へ祈ることを勧めているためと考えられる。

表7. クロス集計の結果

		Answer		Staff		Comments From Our Readers...	
解決のための回答内容		割合(%)	検定	割合(%)	検定	割合(%)	検定
教会・監督・神・コミュニティ	賛成・具体的解決策の提示	75.7	**	85.0	**	/	/
	反対・具体的解決策の提示	33.3	*	/	/	27.3	*
	どちらでもない・具体的解決策の提示	66.2	***	/	/	68.0	***
	反対・自分の経験の紹介	23.3	*	/	/	24.0	*
	どちらでもない・自分の経験の紹介	61.5	*	/	/	/	/
	賛成・啓発	25.0	**	/	/	16.7	*
	反対・啓発	19.2	**	10.0	**	25.0	*
	どちらでもない・啓発	64.0	*	73.3	*	/	/
	どちらでもない・具体的解決策の提示	18.1	*	/	/	13.7	*
聖書	どちらでもない・自分の経験の紹介	6.9	***	/	/	6.6	***
	賛成・啓発	62.5	***	/	/	66.7	***
	反対・啓発	73.1	***	80.0	*	68.8	**
	どちらでもない・啓発	57.3	***	73.3	***	49.2	***

χ^2 検定 * : p<0.05, ** : p<0.01, *** : p<0.001

具体例を以下に示す。

〈質問10〉父にいつまでたっても子ども扱いされるのが不満 (10代後半の男子)

<Comments From Our Readers> 「どちらでもない・具体的解決策の提示」 「教会・監督・神・コミュニティ」: 神は君が父に愛されていなくても君を愛していることを忘れないで。大人なのに子供のようではないか。君だからこそ攻撃しているのではなく、父親がどう思うかである。父親のことを理解し、君が不安を取り除いて。神のおかげで落ち着いて話もできる。もし怒りの言葉以外出てこないのなら、神が穏やかに言葉をかけて下さるまで祈りなさい。父の良い点に感謝し、行いを知らせなさい。神に

祈ることで助けて下さるだろう。

「聖書」とのクロス集計では「Answer」と「Comments From Our Readers」が同様の傾向を示し、最も高い割合から順に「反対・啓発」, 「賛成・啓発」, 「どちらでもない・啓発」であった。「Staff」では「どちらでもない・啓発」が最も高くなった。このことから特に「聖書」は「啓発」において用いられていることが分かり、論ず際の根拠として「聖書」が使われていると考えられる。

神も聖書も宗教に関するものである。このことからキリスト教徒としての考え方がアーミッシュの考えの軸となっているといえる。自分がどのようにしたいかという個人的な幸福の追求よりも、どうすれば自分だけでなく家族や他の人にとっても良いのかという考えが助言の根底にあると考えられる。そのため神に祈ることは自分自身のためだけでなく、家族のために祈るような助言や回答者が質問者のために祈るといふ言葉も書かれている。

Ⅲ. “Young Companion” の分析から見たアーミッシュの若者の価値観

本節では、分析結果をもとにアーミッシュの若者の価値観を明らかにしたい。

1. “Young Companion” の存在意義

“Young Companion” と似た雑誌に “Family Life” がある。“Family Life” は家族向け月刊誌であり、1968年から発行され、アーミッシュのほとんどの家庭で購読される大衆誌である。

“Young Companion” はその2年早く、1966年から始まっていることを考えると、“Family Life” と共に古くから読まれていることが分かる。“Family Life” は1か月平均40ページで、8月号と9月号が合併され、年間で11回発行されている。内容は主に、宗教理念や日々の生活、仕事に関するもので、短編や長編の読み物、詩やクイズが掲載され、大人から子供までが楽しむことができる内容となっている。

“Family Life” の中にも隔月で設けられている “Problem Corner” という「お悩み相談

室」のコーナーがある。質問も回答も読者からの投稿によって構成されている。質問は宗教やコミュニティに関するものから、生活に密着したものまで幅広く取り扱われている¹⁾。しかし “Problem Corner” は1989年から始まっており、“Can You Help Me?” が1969年から始まっていることを考えると、“Young Companion” はアーミッシュの若者相談の場として定着していることが分かる。

このように “Family Life” と “Young Companion” は非常に似ている。しかしながら “Family Life” とは別に “Young Companion” が現在でも存在する理由は、若者にとって、ラムシュプリングというアーミッシュになるかどうかを選択する (再洗礼を受けるかどうか)、人生の中で最も大切な時期にあることや、その大切な時期をより年齢に近い世代の人たちと共有するために必要とされているからと考えられる。

“Young Companion” は、徴兵の期間中、様々な場所で勤める入隊年齢の若い男性に向けて作られたことが出版の理由である。アーミッシュは兵役を忌避しているため、徴兵の代わりに、病院勤務や農場の手伝いなどの代替の仕事に就く。影響を受けやすく極めて重要な時期に、アーミッシュや再洗礼派のコミュニティを離れて、異なった価値観を持つ人々と生活するアーミッシュの若者にとって、同じ価値観を持つ若者の悩みや考え方を共有し、アイデンティティを確認することは極めて重要である。そして若者が、アーミッシュや再洗礼派を離れず、再洗礼を受けてくれるためにも、“Young Companion” は重要な存在であると考えられる。“Family Life” と比べ「再洗礼派の若者向け」と、より対象を絞っているため、一般大衆向けのものよりも同じような境遇に近い感覚を持つ人々が読者となる。その中で悩みを打ち明けることは、より身近な人と悩みを共有することを意味する。

“Young Companion” の “Can You Help Me?” のコーナーでは1つの質問に対して2ヶ月に渡り回答が掲載されていることがある。また、回答の文字数が平均249文字と多く、最も多いものは1,008文字もあった。さらに、これ

まで掲載されていた“Can You Help Me?”からの引用も多いことから、読者の関心の高さがうかがえる。アーミッシュはそれぞれのコミュニティが地理的に離れているため、コミュニティ同士が直接つながることは難しい。そのため、このような場は、アーミッシュとしての共同体を感じられ、安心できる場となっていると考えられる。

2. “Young Companion”分析から見えるアーミッシュの若者の価値観

分析結果から、回答数が最も多い質問は「交際・結婚・恋愛に関する対人関係」、「仕事」、「家族・友人」であった。キーワード検索の結果からも「交際」や「結婚」という単語が使われる頻度は高く、関心の高さがうかがえる。

一方、日本の若者は、「青少年の生活と意識に関する基本調査」(総務庁青少年対策本部)⁷⁾によると、「異性のこと」について悩んでいる人の割合は、15～17歳の男性11.9%、女性10.0%、18～21歳の男性12.4%、女性10.5%となっており、1割程度である。日本の場合は男性の方が女性より若干ではあるが関心が高い。

キーワード検索の結果からアーミッシュでは、「男性」に関する言葉が「女性」よりも多かったことから、アーミッシュは女性の方が異性に関心が高いという違いが見られた。関心の度合いに差はあるが、異性との関係を気にするという点においては、日本の若者もアーミッシュの若者も同じである。アーミッシュにとって交際はそれ事態が大切というよりも、その先にある結婚がより大きな存在になっている。アーミッシュは布教活動をしないので、アーミッシュの繁栄のためには生命の再生産は非常に重要なものとして位置付けられる。また離婚が許可されていないアーミッシュにとって、交際や特に結婚は私たち日本人よりももっと慎重にならざるをえないがゆえに、関心が高いと考えられる。

「交際・結婚・恋愛に関する対人関係」の悩みの内容は、「若い男性が女性に求めるものは何か。」「長い期間交際してきた男性と喧嘩別れをしてしまい、今の自分には何も残っていないように感じている。全ての信用を失ったよう

に感じてしまっているが、どうしたら良いか。」「特別な気持ちを抱く男性がいるが、どうすれば正しい人(運命の人)だと分かるか。」といったものであり、どれも人間味のある質問であった。アーミッシュだから特別な悩みを抱いているという訳ではなく、悩んでいる内容は私たち現代人と共通していることが分かる。

回答者の書き方では、「私もかつてそうだった。」「私も20代の頃は」という自分の経験、あるいは「娘の場合」という自分の家族の経験をもとに書かれていたり、「解決を示唆するもの」として“Young Companion”に以前掲載されたものを見るような助言があった。このことから、アーミッシュにとっても質問されている内容は特別なことではなく、身近な内容と言える。

回答数が多い質問として取り上げた「仕事」、「家族・友人」、「恋愛・結婚・交際に関する対人関係」という3つの中で、直接人と関わる内容は2つもある。人とのつながりを大切にするアーミッシュだからこそ、またその人との関わりの中で悩みが出てくるのだと考えられる。日本の若者の場合、先の調査結果⁷⁾より家族のことを悩みとしているのは、15～17歳の男性5.1%、女性7.2%、18～21歳の男性6.3%女性8.8%、友人や仲間のことを悩みとしているのは、15～17歳の男性9.8%で女性16.2%、18～21歳の男性8.6%で女性9.7%である。数値としてはあまり高くないが、いじめや家庭内のトラブルといった人間関係の問題が多い。アーミッシュも私たち現代人も似た悩みを抱えていることが分かる。

またアドバイスとして、「神に祈る」ように書いてあるものが多く見られた。単純集計の結果、「仕事」、「家族・友人」、「交際・結婚・恋愛に関する対人関係」全体の回答において、「教会・監督・神・コミュニティ」が最も高くなった。キーワード検索においても、「神・イエス・キリスト・救世主」は2番目に使われる頻度が高い言葉であった。アーミッシュにとって宗教は生活の基盤であるため、神に祈ることが最も有効な解決策と考えられる。毎日少しでも祈るようにアドバイスしているものが多く見られたが、祈りの時間は1人で心を落ち着ける

時間となるため、その日1日を振り返ったり、自分自身を見つめ直すきっかけになる。「神に祈る」という行為そのものも大切だが、自分を振り返る時間としても大切と考えられる。

アドバイスも、ただ「その人の問題を解決する為だけに祈りなさい」というだけではなく、家族に関わる質問の際には「父親のために祈りなさい」や「母親のために祈り、愛しなさい」という回答があった。また回答者が質問者のことを心配し、「私もあなたのために祈ります」と書かれているものもあった。自分だけでなく、人のために祈るということは、「相手にこうしてほしい」と求めるだけではない、という気持ちの表れと考えられる。相手の行動を変えようとするのではなく、まずは自分の気持ちの持ちようを変えることが大切だとアドバイスしているように感じられた。そのためにはまず相手を受け入れる必要があり、それは極めてアーミッシュ的な考え方と言える。

宗教に関する内容をクロス分析した結果、「聖書」と「啓発」の間に強い関係が見られた。「教会・監督・神・コミュニティー」と同様、「聖書」も宗教に関するものである。論ず際に根拠として聖書を使っており、キリスト教徒としてその振る舞いは正しいものなのかどうかを考えている。ここから、自己中心的で個人的な幸福の追求だけではなく、悩みの種となっている相手や家族、他の人にとっても良い方法を求めていることが分かる。アーミッシュは自分にとっての解決というよりも、みんなにとってより良くなるような解決を求めていると言える。

以上の分析から、アーミッシュの若者、そしてアーミッシュの価値観の特徴を明らかにすることができた。まず、「相手に求めるだけではない」という点である。私たちは問題があるとどうしても相手のせいにし、合理的に解決しようとする。合理的に解決しようとする背景には、自分が優位になるような解決をしたいという思いがある。アーミッシュは普段から意識せず、このような価値観を持っているかもしれないが、私たち現代人は、相手を変えようとするよりも、自分が変わることを先に考えることが大切であろう。

次に身近な人とコミュニケーションをとる点である。普段からコミュニケーションをとることで、相談もしやすくなる。悩みの内容によっては、専門家の力を借りることも必要だが、まずは身近な人と話をする中で自分の中で問題を整理することができる。また自分にとって身近な人が、一緒に同じ問題に対して悩んでくれるということは、その人にとって心の支えになる。信頼しているからこそ悩みを打ち明けることができ、また悩みを打ち明けることによって相手とのつながりが強くなる。人間関係が希薄になってきている私たち現代人にとって、悩みを共有することが人とつながる手段にもなる。

アーミッシュの人々は人とのつながり、絆を大切にしている。直接のコミュニケーションを重要視し、その妨げになる事柄に対して、文化的抵抗や文化的妥協をしている⁴⁾。現在、日本においても人とのつながりが見直されつつある。きっかけは2011年3月11日に起こった東日本大震災である。情報も物資もない中で、人々を支えたものは人とのつながりであった。しかし日本はこれまでずっと人間関係が希薄であった訳ではない。昔は近所付き合いがあり、人とのつながりがより密であった。しかし近代化が進むにつれ、近所付き合いといった人間関係は希薄となってきた。東日本大震災を通し、今また近所付き合いをはじめ、人との関係が見直され始めている。地域コミュニティーで集まる場ができるなど、特にお年寄りの間で起こる孤独死の問題とも絡み合いながら、地域コミュニティーが見直されつつある。アーミッシュはこれまで人とのつながりや絆を大切にしてきたが、私たち日本人もこの大災害を経て再びこの大切さに気付いたと言える。また私たちは保育や家事といった家庭での役割を、お金を払うことで外部に委託してきたが、今再び、家族のあり方について見直す必要がある。これからは家族をはじめとする身近な人々とよりコミュニケーションをとることによって、互いに信頼し合い、繋がっていく必要がある。電話やメールが発達した現代、直接コミュニケーションをとる機会はますます減っている。意図的に直接的なコミュニケーションを持つ機会をつくり、私たち1人1人が

自分たちの生活をさらに見つめる機会が必要である。そうすることによって、現代社会においてもアーミッシュシステムが築いている持続可能な社会を再構築することができるのではないだろうか。

参考文献

- 1) Kraybill, Donald B., *The Amish*, The Johns Hopkins University Press, 2013
- 2) John Andrew, Hostetler, *Amish Society*, The Johns Hopkins University Press, 1963
- 3) ドナルド・B・クレイビル, 杉原利治・大藪千穂訳, 「アーミッシュの昨日・今日・明日」, 論創社, 2009
- 4) ドナルド・B・クレイビル, 杉原利治・大藪千穂訳, 「アーミッシュの謎」, 論創社, 1996
- 5) Joseph Stoll, senior editor, *PATHWAY PUBLISHERS*, (letter) 2014
- 6) Stevick, Richard A, *Growing up Amish: the teenage years*, The Johns Hopkins University Press, 2007
- 7) 総務庁青少年対策本部, 「青少年の生活と意識に関する基本調査」
<http://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/seikatul/isiki.html>, 1996 (参照2014-2-9)

資料：質問の内容

	内容
1	私は他のコミュニティの人々は女の子をメイドとしていくら雇っているのでしょうか。あなたは1日1時間いくら雇っていますか。いくらが普通なのですか。1年の中のある時期には家事や子供の世話をしてくれる人が必要です。メイドは毎日来ます。私は忙しい母親たちの犠牲をしているこれらの少女と公正でありたかったのですが、支払い責任があり一生懸命働いている夫とも公正でありたかったのです。私は両方に恩があります。また私はメイドがどうやって働いているのか気にしないようにすべきですか。彼女はただ眠たいだけでしょか。私は目をつむり、彼女が行った後にやり直せばよいのでしょうか。次回も彼女を再び雇うべきでしょうか。他の子を雇って彼女を傷つけたくはありません。全ての者に対して親切で、祈る価値があるべきだと思っています。あなたやメイドの人の話が聞きたいです。
2	なぜ少女はメイドとしても少ない金額またはただで働かされているのでしょうか。私は喜んで若い母親のために働いていますが、なぜ低賃金の仕事と考えられているのですか。まったく重要な仕事ではないのでしょうか。私たちのコミュニティでは町などで清掃することになっていません。むしろそれぞれの家で働くことになっています。しかしこれでは収入になりません。男子の仕事は女子の仕事より価値があると考えられています。女子が教える時でさえごみのように安い賃金しか受け取れません。私はこれを受け入れ文句を言うべきではないのですか。誰か教えてください。
3	どのくらいの時間を私たちは生きるための労働に、どのくらいの時間を神のために費やすべきでしょうか。新約聖書では生きるために働くよりも、他者を助けるように示していると思われます。(ヨハネ6:27「なくなる食物のためではなく、いつまでも保ち、永遠のいのちに至る食物のために働きなさい」)
4	教会や若者の集まりを楽しんでいる人は十分に働いていないというのは真実でしょうか。(私は週に数回ではなく1ヶ月に1回の親睦を考えています。)このような集まりを楽しみにしてはしゃぎすぎている場合は、怠惰であったり十分に働いていない証拠だという人もいます。私はいつも仕事を学ぶために不可欠だと考えていますが、人生において働いて、働いて、働きつめてお金を得るよりも大切なことがあるのではないのでしょうか。私たちはもっと仕事の倫理とのバランスを教える必要があるのではないのでしょうか。
5	10代少年 私は父のことがあまり好きではありません。彼は私について他人の前で卑劣なことを言い、私を困らせます。父の機嫌が悪いとき私は常に被害者です。聖書では「父母を敬え」とありますが、父が間違っているときはどうすればいいのでしょうか。
6	10代後半の女子 私は母とまったく密接になったことがありません。今彼女は私に心を用いてほしいと打ち明けたがっていますが、私にはできません。これは私の人間性なのでしょうか。私は神の助けを祈ってきました。母と率直に話せるかどうかわかりません。母を愛しています。
7	私は母を受け入れられず悩んでいる少女です。いつも神のご加護を求めています。
8	10代前半の少女 私の父は出ていき、兄弟と母は協力的な教会のところにいます。しかしこの状況は私たちに苦悩をもたらします。子どもは親によって判断されるという言葉が私を苦しめます。私は被害者でもあるのに、父によって判断されるのでしょうか。安定した家庭の子は私たちよりも多くのチャンスがあるのでしょうか。私たちは神の前で等しいのでしょうか。
9	私たちは互いにもとても親密な女子グループです。私たちのコミュニティには私たちをかなり困らせるような問題があり、どうすべきか悩んでいます。1人の男子の子が私たちの地区に引っ越してきたことが深刻な問題の始まりでした。このことが私たちの感情を不快にしました。彼は私たち女子をならむ問題があることに気付いていませんよね。そしてこのことがしばしば私たちの夕方の集まりをダメにしています。この難しい立場をどう対処すべきか励ましと助言が必要です。
10	10代後半の男子 私は父に何度も貶され、大人の代わりに小さな子供として扱われる経験をしてきました。もし私がいつか家庭を持ったときどうすれば父のようにならずに済むでしょうか。かつてこのような経験をした方はいますか。また、どのように乗り越えましたか。
11	私は養子の娘で、結婚している兄妹や姉妹と良い両親がいます。しかし私には他の子たちがしているように両親と親密な関係を築けていません。彼らが何か個人的なことについて話す時はいつもそのことについて聞いたり、話したくはありません。決して父や母と問題を起こしたいわけではありません。そういつか時間があると、あとで後悔しました。秘密を打ち明けられるような親友はいますが、もし両親と伝え合えなければ、友人にそのことを言ってもよいのでしょうか。助言をください。
12	10代後半女子 どうしても助けがいます。先日「鋭い言葉はクリスチャンにはふさわしくない」と言う私の心に深く影響を与える説教を聞きました。私もそう信じていますが、そうすると私の家庭はクリスチャンの家庭ではないのでしょうか。私の家ではたびたび鋭い言葉が使われていますが、優しい言葉も同じかそれ以上によく使われます。長子として私には私が家族にもっと愛を運ぶために何ができてでしょうか。すでに下の弟たちに影響を与えているようです。もし神の意思であれば、私もそう遠くない未来に自分の家庭を持ちたいと思っています。どうすれば私の家族のようにならずに済むでしょうか。このことについてよく祈っています。
13	私は幼い弟や妹たちと忍耐強く戦っている19歳の少女です。両親は何とかして子供たちを素早く従順になり、尊敬するよう教育していますが、いつも失敗しています。私は神にどうすれば彼らの手本となれるかわかる賢さを与えてくださるのか祈っています。神は私に何を求めているのでしょうか。家庭には常に争いがなければいけません。このような経験をされた方、私に助言はありませんか。
14	私には6歳にまだならない非常に活発な弟がいます。弟には無限のエネルギーがあり、しばしばつまらなくなったり、兄弟と喧嘩をします。私の望みは彼とより忍耐強くなることです。彼の貴重な幼少期の思い出を台無しにはしたくありません。特に活発な弟や妹を持つ方の話が聞きたいです。
15	ひどすぎることはいつですか。私たちのコミュニティでは若者は土曜の夕方、日曜の午後と夕方、週日以外は一緒に集まれます。家族と離れ一晩中ぐし、食事をとります。これは仲間内の圧力を増やし、手加減を減す傾向にあります。牧師や多くの教会のメンバーは心配し、まだ立場は同じです。最近ある男子の子が、「両親や牧師は前兆を見てはいけな。私たちは罪に従って生き、神を扱いコミュニティにとってベストを尽くしたい。」と言いました。
16	おそらく君にも父親にも助けが必要。父親が他者前で卑劣なことを言うとは本当か。彼は君の態度を改めるように言っている。時々よくない態度をとっているのではない。もし父親が言うことが正しいのであれば、君は恐らく自分自身についてよく考える時間が必要。父親を喜ばせるためにベストを尽くしているのか。父親を満足させることは難しい。もし君に父親もそうであれば、私は君が文句を言われないようにすべきだと提案する。私たちは皆人として厳しくされる必要がある。その時だけは君の父親に正しいクリスチャンとしての方法で答えられるだろう。父親を満足させるためにベストを尽くし解決しなさい。朝父親に起こされたのならすぐに起き、常に迅速かつ元氣よく従いなさい。彼が何も言わない時に親切にしなさい。1日を父親と自分のために祈ることから始め、読み、勉強し、九九考えよく覚え、コロサイ人からの手紙3章23、24節を実践しなさい。
17	若い男性は女の子に何を求めていますか。彼は他の男子の子に話しかけ、誰かを探しているのですか。私は周りに他の男子の子がいると恥ずかしいので何を言っているのかわかりません。これはうぬぼれでしょうか。特定の男子と話したり笑ったりする女の子は彼女の夫としたり彼を得ることになります。しかし恥ずかしがり屋であったり静かな人はどうでしょう。決してうぬぼれなく、私は私自身でいたい。特に若い男性の意見が聞きたいです。
18	20代後半独身女性 私は決して母親としての喜びや子供が舌足らずな感じで「ママ」という言葉を言うのを聞くことはおそらくないということを受け入れよう一生懸命努力しています。時々自分の子供を持ちたいと言う深い憧れのせいで泣いてしまいます。明らかに神の意思ではないので、独身女性としてこのような深い感情を持つことをとても恥じています。私は祈り、神の意思に従いたいという心やこれらの思いと一生懸命戦ってきました。しかし憧れは残ったままで、どうやって乗り越えたらいいのかわかりません。人々は、子供のいない結婚した夫婦をかわいそうに思っても、なぜ年を取った独身女性については何も言わないのでしょうか。私はそのような思慕を持ったたった1人の女性なのでしょうか。助けてください。
19	交際するにももうすぐ十分な年齢になる若い女の子ですが、そのことについて考えるとはほとんど毎回泣いてしまうという問題を抱えています。私が考える3人のクリスチャンの男性がいます。どうすれば神が私に誰を選んでもくれるのか知ることができるといいのですが。彼らは皆親切で思いやりがあります。誰の心も傷つけたくありません。
20	長い間若い男性と付き合ってきましたが、最近ちょうど喧嘩別れました。今私は何も残ったものがないように感じています。どうすればだれかを信用できるでしょうか。私はすべての信用を失ったように感じ、助けが必要です。おそらく同じように別れた経験を持つ方が私を励ます言葉を知っているでしょう。
21	特別な感情を抱く男性がいます。気持ちを示すことは良くないことと分かっていますが、彼は恋愛関係を始めるタイプではありません。また、他の男性にも告白されました。1人目が私にとってのその人だと思いが、どうすれば確実に分かるのでしょうか。
22	17歳少女 人生の中で私にとって特別なある若い男性がいます。彼は教会のメンバーでおそらく私の1つ年上です。機会があるといつも彼を目で追っつけています。良くないことと分かっていますが、どうすればいいのかわかりません。一生懸命やっていますがうまくいきません。十分な努力をしていないからでしょうか。他の女の子たちが彼のことをからかうと、上手くいかないといいませんか。私たちが良い相性になるとさ言いわれますが、
23	私は間違えを恐れてまだ結婚していない独身者です。結婚は私にとってとても深刻なものに思われます。恋愛しようとしたが、親密になる前に終わってしまいました。私は人々がどのように人生のパートナーを選ぶ重要性を感じているのかわかりたいです。フィーリングで選ぶことは危険だということもいますが、本当に危険ですか。合わない人が上手にくっつくことはありませんか。どうすれば簡単に特別な感情を持つ誰かと本当の愛が学べますか。どうすれば私たちは友情について尋ねた時、神の意志を見分けられますか。
24	20代女性 結婚願望はあるが、教区に若者が全くなません。できれば行きたくないのですが、他の教区へ探しに行くべきでしょうか。経験者の方がいいですか。私はどうすればいいのでしょうか。
25	10代後半の少女 私は特別な友情のために、彼の要求をはねのけた後の若い男性とのかかわり方を知るために取り組んでいます。特にこのことを経験したことがある若い男性の深刻な心境を聞くことに興味があり、考えを共有したいと思っています。互いに距離をとった方がいいのでしょうか。それとも何事もなかったかのようにふるまえばいいのでしょうか。
26	私たちは交際している時に誘惑に対してダメだということがたんだん難しくなってきたりしています。私たちは将来結婚するつもりで、一緒にいるに当たり、何か断固とした提案を求めています。私たちはたんに聖書の他にも良い本を読んできましたが、他のとても素晴らしいアイデアが欲しいです。